

鹿沼市消防団組織再編計画（案）に対するパブリック・コメントとその回答

No.	意見等	回答
1	<p>中学生による少年消防隊の編成を提言する。運動部の中学2年生で編成し、消防出初式の分列行進に参加し、消防団を体感して、将来入団してもらおう。また、担架による搬送訓練を行う。</p>	<p>・本市消防団の入団要件は、年齢18歳以上としており、消防団に少年消防隊を編成することは考えておりません。しかしながら、小中学校等の防災教育を推進する中で、消防団活動の理解を深めていく取り組みに積極的に協力しながら、幼少時期から消防団に関する意識付けを図ってまいります。</p>
2	<p>・消防団ではなく、各地域の自主防災組織として存続させるのはどうだろうか。訓練や点検等も自分達で決め、有事の際は出来る範囲で活躍するので、負担軽減に繋がり、人数が少ない場合には、車両や詰所を返納する事もできる。</p> <p>・永年勤続表彰で記念品を貰って喜ぶ団員が何人いるのか。記念品が悪い訳ではないが、消防団活動には家族の理解、協力があってのものなので、家族で使える金一封がよいのではないか。</p>	<p>・消防団は、消防組織法に基づく本市の消防機関として必要不可欠であり、地域防災における役割は極めて重要だと考えております。また、消防団員の教育訓練は、災害現場等において迅速かつ的確な活動を行い、その安全を確保するために重要であります。引き続き、消防団員の負担に配慮しながら、効果的で効率的な訓練方法に見直してまいります。</p> <p>・永年勤続表彰は、消防団員としての長年の苦勞に感謝し功勞に報いるための表彰制度です。消防団員の士氣高揚や家族の理解を得る観点から、現在、行っている施策を含めて、今後の課題といたします。</p>